

令和 6 年度

事業報告書

特定非営利活動法人 森づくりフォーラム

1 事業の成果

2024 年度は以下の 4 つの事項について、重点的に取り組みを進めてきた。

1 つ目に、「森林と市民を結ぶ全国の集い 2024」をオンライン配信形式および福岡・八女市黒木町での会場集合形式で開催し、事務局運営を担った。また「森林と市民を結ぶ全国の集い 2025」の開催に向けて準備を進めた。

2 つ目に、林野庁補助事業「国民参加による植樹等の推進対策事業」として、森づくりコーディネート組織向けの研修を企画・実施したほか、企業との協働を進める市民団体の取材・情報発信と、2025 年 1 月に「協働による森づくりのこれからを考える」をテーマにシンポジウムを実施した。

3 つ目に、非営利の森づくり団体を対象とした「森林づくり活動についての実態調査」を実施した。

4 つ目に、「初心者のための森づくり体験会」を計 6 回実施した。また、本体験会の実施にあたってイベント当日のフィールドスタッフの募集を行い、5 名を採用した。

組織運営の面では会員・保険利用団体等のデータベースのアップデートに向けた作業を進めた。また、入会・寄付促進のため、各 WEB ページの情報更新と記事投稿を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【22,697】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
(1) 森づくり活動を行う団体間の交流、協力関係を促進し、ネットワークを構築する事業	28 回目となる「森林と市民を結ぶ全国の集い 2024」を実施した。また、第 29 回開催に向けた準備と企画を行った。	2024 年 4 月～ 2025 年 3 月	東京、オンライン	4 名	実行委員会、イベント参加者	324 名	3,923
(2) 森づくり活動団体の育成および活動がより円滑にできる環境の基盤整備事業	①【初心者のための森づくり体験会】6 団体の協力で計 6 回の体験会を実施した。	2024 年 4 月～ 2025 年 3 月	東京	8 名	イベント参加者	78 名	972
(3) 森林の保全および自然環境の普及啓発事業	①【企業の森】東京都御岳にある企業の森のイベント協力のための事前の森づくり作業を行った。 ②【フォレスト 21「さがみの森」】月 2 回の森林ボランティア体験活動を実施。	2024 年 4 月～ 2025 年 3 月	① 東京 ② 神奈川 全国	7 名	イベント参加者、会員、一般市民	① 302 名 ② 4 名 ③ 138,555 名 計 138,861 名	4,907

	【広報事業】機関誌として活動レポートを年4回を1回発行した。また月2回のメールマガジンの発行やWEBサイト・Facebook・Instagram等により情報発信を行った。						
(4)人材育成のための研修、講習会事業	【多摩の森・大自然塾】月1回の森林ボランティア体験活動、また学生を対象とした森林体験講座を実施した。	2024年 4月～ 2025年 3月	東京	2名	活動参加者	158名	122
(6)森林ボランティア保険事業 森づくり活動を行う団体の育成および活動がより円滑にできる環境の基盤整備	グリーンボランティア保険の窓口業務を継続して行った。また、保険料支払について一定期間をまとめて行えるような制度を、試験団体数5団体で試行した。ベントを実施した	2024年 4月～ 2025年 3月	全国	3名	保険利用者	55,794名	1,853
(8)森づくりに関する情報の収集・提供および調査研究	①【森林社会学研究会事業】2015年度よりスタートした連続講座シリーズを、計4回オンライン配信（内、現地集合形式2回）で実施した。 ②【森林づくり活動についての実態調査】非営利で森林づくり活動を行う団体を対象に（4,650団体）、都道府県・林野庁と協力して実態調査を行った。 ③【国民参加の森林づくり植樹等推進対策事業】森づくりコーディネート活動の活性化を図るため、研修・ワークショップを実施した他、企業等とNPO・ボランティア森づくり団体との協働を促進するため、WEBサイト「森ナビ・ネット」のコンテンツ作成・発信と、1月29日に国民参加の森林づくりを促進するためのシンポジウム「これからの協働による森林づくりを考える」を実施した。	2024年 4月～ 2025年 3月	東京ほか	3名	講座、企画委員会参加者	1,005名 4,650団体	9,475

2024 年度(第 25 期) 事業報告について NPO 法人森づくりフォーラム

I. 事業に関する事項

1. 調査・研究に関する事業

(1) 森林社会学研究会事業

[助成事業]

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	鹿住、原田、宮本
受益対象者の範囲及び人数	782 名
会議等の実施日時・人数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5/26 連続講座第 33 回『『森林環境譲与税』は森と人とをつなぐことができるのか』235 名（オンライン配信） ・ 9/6 企画委員会 7 名 ・ 11/16 連続講座第 34 回「“森づくり”と“まちづくり”を一緒に考えよう～市民が参加・協力して森林ビジョンをつくるには～」40 名（熊本会場） ・ 2/20 連続講座第 35 回「保持林業って何だろう～人工林の生物多様性を高める方法を探る」500 名（オンライン配信）
報告	森林社会学研究会の連続講座を計 3 回実施した。9 月には企画委員会を実施し、2025 年 6 月までの企画内容について検討した。企画委員メンバーは相川高信さん、井上有加さん、佐野薫さん、富井久義さん、成田陸さん計 5 名。また 2025 年 5 月に実施するシンポジウムの企画・準備を進めた。

(2) 2024 年 森林づくり活動の実態調査事業

[受託事業]

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	本会事務所
担当者	石山、樋口、宮本
受益対象者の範囲及び人数	5 人 調査対象団体数：4,650 回答数：1,667
会議等の実施日時・人数	・ 8/5 検討委員会 5 人
報告	2024 年 10 月～11 月に「2024 年森林づくり活動についての実態調査」の調査回答を依頼した。実施にあたっては、調査手法・調査票案を作成し、検討委員会を 1 回行った。検討委員メンバーは朝廣和夫さん、富井久義さん、松村正治さん計 3 名。調査票の設問数や設問内容の見直しを図ったところ、2021 年実施時と比較して回答率は高くなった。なお、林野庁が 1997 年から 3 年ごとに始めた本調査であるが、2015 年、2018 年は林野庁補助事業、2021 年は林野庁委託事業として森づくりフォーラムが実施してきた。今回は、国土緑化推進機構の委託事業として行うことになった。また各都道府県自治体からの団体情報共有にあたっては、林野庁の協力を得た。

2. ネットワークに関する事業

(1) 森林と市民を結ぶ全国の集い

[助成事業]

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	福岡県八女市ほか
担当者	石山、鹿住、中沢、宮本
受益対象者の範囲及び人数	324 名
会議等の実施日時・人数	<p>・「第 28 回森林と市民を結ぶ全国の集い 2024」5/8～6/2 のべ 227 名 (5/8、5/20：オンライン、6/1～2：福岡県八女市黒木町) 4/17 実行委員会（オンライン） 10 名 7/1 実行委員会（オンライン） 14 名</p> <p>・「第 29 回森林と市民を結ぶ全国の集い 2025」2025/4/22～5/30 8/23 全国の集い 2025 準備会（オンライン） 5 名 9/18 全国の集い 2025 打合せ（オンライン） 3 名 10/3 全国の集い 2025 実行委員会（オンライン） 13 名 11/20 全国の集い 2025 実行委員会（オンライン） 14 名 12/18 全国の集い 2025 実行委員会（オンライン） 13 名 1/31 全国の集い 2025 実行委員会（オンライン） 12 名 3/6 全国の集い 2025 実行委員会（オンライン） 13 名</p>
報告	<p>5 月 8 日（オンライン）、5 月 20 日（オンライン）、6 月 1 日～2 日（福岡県八女市黒木町）に第 28 回を開催した。テーマは「人も生き物たちも喜ぶ森をつくるには？～地域の自然との共生をめざして～」。その準備を進めるとともに、報告書作成などのとりまとめも行った。</p> <p>また、2025 年 4 月 22 日、5 月 23 日、5 月 30 日（オンライン）、5 月 17 日～18 日（大阪府南河内郡河南町、富田林市）実施の第 29 回開催に向けて、実行委員会事務局として準備を進めた。</p>

(2) 国民参加による植樹等の推進対策事業

[補助事業]

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	鹿住、松村、宮本
受益対象者の範囲及び人数	123 名
会議等の実施日時・人数	<p>・8/5 第 1 回検討委員会 11 名</p> <p>・9/3、4 コーディネート組織向け研修・ワークショップ 12 名</p> <p>・森ナビ・ネット取材先団体 4 団体（コープさっぽろ、NPO 法人 活エネルギーアカデミー、NPO 法人しんりん、NPO 法人由良野の森）</p> <p>・1/29 シンポジウム「これからの協働による森林づくりを考える」100 名</p>
報告	<p>森づくりコーディネート活動の活性化を図るため、R6 年度林野庁補助事業の交付金を受けた組織・団体を対象とする研修・ワークショップを企画し、9 月 3 日～4 日に山梨県甲府市で実施した。本研修・ワークショップ</p>

	には、かながわトラストみどり財団、森林文化協会、京都モデルフォレスト協会が参加した。企業等と NPO・ボランティア森づくり団体との協働を促進するため、WEB サイト「森ナビ・ネット」のコンテンツ作成・発信と、NPO 等による取組事例の取材を行った。また、1 月 29 日に国民参加の森林づくりを促進するためのシンポジウム「これからの協働による森林づくりを考える」を実施した。
--	---

3. 人材育成の事業

(1) 初心者へ向けた森づくり体験会と指導者層の育成事業

[助成事業]

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	東京都内 7 カ所程度
担当者	石山、樋口、宮本
受益対象者の範囲及び人数	85 名
会議等の実施日時・人数	4/14 協力先：木下沢溪谷冒険の森の会 10 名 10/15 フィールドスタッフ事前打合せ 7 名 11/17 協力先：緑地管理ボランティアの会 20 名 12/15 協力先：パウロの森くらぶ 20 名 3/9 協力先：木下沢溪谷冒険の森の会 16 名 3/22 協力先：12 名 御岳倶楽部 12 名
報告	「初心者のための森づくり体験会 2024 春」を 4 月に 1 回開催した。当日対応するフィールドスタッフの公募を行い、5 名を採用。「初心者のための森づくり体験会 2024 初冬」からは採用したフィールドスタッフが当日スタッフとして参加した。初冬の体験会は、11～12 月にかけて、当初 3 団体のフィールドで開催する予定だったが、団体事情により 2 団体のフィールドでの開催となった。また 4 回開催予定の「初心者のための森づくり体験会 2025 春」のうち 2 回を 3 月に実施した（残り 2 回は、4 月、5 月に実施予定）。

4. 森林ボランティア活動支援の事業

(1) グリーンボランティア保険業務

[自主事業]

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	本会事務所
担当者	久保田、樋口、宮本
受益対象者の範囲及び人数	下記実績件数を参照
報告	保険料年間精算サービスを 5 団体（内、新規 1 件）で実施した。メールマガジンで PR 記事を作成・発信したほか、東北地域の市町村自治体の担当窓口をリサーチした上で PR のためにパンフレット送付を行った。また、よくあ

	る問い合わせ内容を収集・整理し、WEB上にQ&Aを作成・公開した。
--	-----------------------------------

【グリーンボランティア保険 2024 年度 登録団体状況 (2025/3/31 現在)】

前年度利用団体数	新規登録	未更新	更新数	利用団体数	前年度比
7 1 4	1 2 2	3 1	6 8 3	8 0 5	+ 9 1

(2) 森づくり活動における安全対策の普及・啓発

[自主事業]

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	本会事務所
担当者	久保田、森中、宮本
報告	オンライン配信による安全対策イベントの協働企画について、日本環境保全ボランティアネットワーク (JCVN) と意見交換を行い、検討した。かながわ森林インストラクターの会より依頼を受け、3 月 1 日に事故事例と安全対策をテーマにした講演をオンラインで行った。また、初心者のための森づくり体験会の受け入れ団体・フィールドスタッフを対象とした安全講習会の企画検討を行った。

(3) 森林のネイチャーポジティブハンドブック作成事業

[受託事業]

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	本会事務所
担当者	赤池、宮本
報告	国土緑化推進機構発行の『森林 SDGs ハンドブック』の続編にあたる形式で、『森林ネイチャーポジティブハンドブック』の冊子を作成するため、企画提案と構成案を検討し、冊子の目次構成を決定した。また、冊子内に掲載する記事のため日本自然保護協会の高川晋一さんにインタビュー取材を行った。

5. フィールド事業

(1) フォレスト 21「さがみの森」

[助成事業]

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	仙洞寺山国有林「さがみの森」19.28ha (神奈川県相模原市緑区青山)
担当者	樋口、宮本
受益対象者の範囲及び人数	302 名、フィールド事業 2024 年度活動成果を参照
報告	毎月第 2 土曜日、第 4 日曜日の定例活動を実施した。毎月第 2 火曜日に行うさがみの森連絡協議会もオンライン実施を継続した。11 月 24 日に 2 名のインターン生の企画によるイベントを行った。また、10 月 27 日に Microsoft 社の社員受け入れ活動、3 月 8 日にファンケル社の社員参加による体験イベントを実施した。

(2) 多摩の森・大自然塾 定例活動

[自主事業]

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	東京都奥多摩町鳩ノ巣
主担当者	鹿住、宮本
受益対象者の範囲及び人数	158 名、フィールド事業 2024 年度活動成果を参照
報告	毎月第 3 日曜日に定例活動を実施した。また、コロナ禍以前以来となる学生編を 11 月 23 日に実施した。なお、第 1 月曜日に開催の鳩ノ巣協議会は毎月ハイブリッド形式で実施した。

(3) 木下沢溪谷冒険の森

[協力事業]

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	東京都八王子市裏高尾町
主担当者	宮本
報告	「木下沢溪谷冒険の森の会」の緑の募金事業申請書の作成・報告の事務、東京都保安林での作業許可届の手続きなどのサポートを行った。またイベント活動の広報協力を行った。

<フィールド事業 2024 年度活動成果>

事業名	活動実施日	活動 スタイル	実施 回数	2024 年度 延べ参加 者数	2023 年度 延べ参加 者数
初心者のための 森づくり体験会	4/14 (10 名)、11/17 (20 名)、12/15 (20 名) 3/9 (16 名)、3/22 (12 名)	イベント	5	78	42
フォレスト 21 「さがみの森」	4/13 (16 名)、4/28 (13 名)、5/11 (9 名)、5/14 (2 名)、5/26 (8 名)、6/8 (10 名)、7/13 (14 名)、7/28 (17 名)、8/25 (11 名)、9/14 (7 名)、10/12 (9 名)、10/27 (20 名)、11/9 (12 名)、11/24 (29 名)、12/14 (7 名)、12/22 (11 名)、1/11 (14 名)、1/26 (26 名)、2/8 (12 名)、2/23 (11 名)、3/8 (30 名)、3/23 (14 名)	定例活動 イベント	22	302	272
多摩の森・大自然塾	4/21 (17 名)、5/19 (12 名)、6/16 (8 名)、7/21 (9 名)、8/18 (10 名)、9/15 (12 名)、10/20 (18 名)、11/17 (13 名)、11/23 (12 名)、12/15 (14 名)、1/19 (14 名)、2/16 (14 名)、3/16 (5 名)	定例活動	13	158	161

6. 広報事業

(1) 機関誌『森づくりフォーラムだより』及び『森づくりフォーラム特集号』の発行 [自主事業]

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	本会事務所ほか
主担当者	石井、樋口、宮本
報告	『森づくりフォーラムだより』計 4 号を発刊したほか、特集号については次号内容について検討を行った。

(2) メールマガジン『森づくりフォーラム通信』の発行 [自主事業]

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	本会事務所ほか
主担当者	中沢、樋口、宮本
報告	月 2 回の発行体制を継続した。シンポジウムや講座参加者の希望者に働きかけを行い、SNS でも登録促進を呼びかけた結果、読者数は増加した。

(3) 森づくりフォーラム WEB サイトの運用 [自主事業]

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	本会事務所
主担当者	石井、樋口、宮本
報告	森づくりフォーラムの活動情報、イベント告知情報、森づくり団体紹介記事、内山節ライブラリー記事などを掲載した。また森づくり団体支援に関わるページや、会員向けページの情報更新作業を行ったほか、よく読まれる記事については内容の更新と定期的な案内を行った。

(4) SNS (Facebook、X (Twitter)、Instagram、YouTube) の運用 [自主事業]

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	本会事務所
主担当者	石山、中沢、樋口、宮本
報告	イベント告知や活動情報の発信に活用した。YouTube は講座・シンポジウムのオンライン配信やアーカイブ動画の限定公開・保存用として活用した。また Instagram ほか SNS 記事の作成・投稿についてはインターン生にもサポートいただいた。

【各情報発信ツールの推移 (2025/4/21 現在)】

ツール名	頻度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
メールマガジン (まぐまぐの読者内数)	月 2 回	5,759 (366)	6,181 (332)	6,488 (325)
FB(森フォ)	月に約 4 記事投稿	4,121	4,286	4,468

FB(全国の集い)	イベント時に投稿	1,764		2,209		2,332	
Instagram	随時投稿	3,892		3,880		3,947	
X	随時投稿	183		308		343	
YouTube	アーカイブ作成時	401		547		645	
TikTok	随時投稿	-		51		100	
WEB（ユーザー数）	随時投稿・更新	総数	月平均	総数	月平均	総数	月平均
		59,289	4,940	75,000	6,250	66,000	5,500

Ⅱ．総務に関する事項

1．会議

- (1) 第 25 回通常総会 2024 年 5 月 26 日
- (2) 第 50 回定期理事会 2024 年 5 月 25 日
第 51 回定期理事会 2024 年 11 月 9 日
- (3) 運営委員会 2024 年 4 月 26 日、8 月 2 日、10 月 7 日、
2025 年 2 月 3 日
- (4) 事務局会議 2024 年 4 月 4 日、5 月 9 日、6 月 11 日、7 月 16 日、9 月 12 日、
10 月 24 日、11 月 25 日、12 月 23 日、
2025 年 1 月 17 日、2 月 13 日、3 月 10 日

2．会員の拡大

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	運営委員会及び事務局
報告	入会・寄付 WEB ページの情報更新やレイアウトの修正を行った。併せて会員向け WEB ページの情報を拡充する形でアップデートを行った。また、オンラインイベント実施時には入会呼びかけを行った。

【2024 年度会員・寄付者状況（2025/3/31 現在）】

○会員数

	現会員数	新規	退会者数
個人正会員	1 5 5	1 4	5
個人賛助会員	1 0 2	6	7
団体正会員	1 0 9	7	5
団体賛助会員	1	0	1

○寄付者数

	現寄付者数	新規継続(マンスリー) 寄付者数	継続寄付 停止者数
単発寄付者	22 (会員は除く)		
継続寄付者	5	4	6

○企業寄付一覧

	企 業 名	金 額
1	株式会社ファンケル	876,700 円
2	ヴィーナ・エナジー・ジャパン株式会社	1,000,000 円
3	日本マイクロソフト株式会社	254,505 円
4	アサヒグループホールディングス株式会社	2,300,000 円
5	株式会社 SUPER BLOOM	100,000 円

3. 寄付の促進

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	本会事務所
担当者	石井、樋口、宮本
報告	オンラインイベント、体験イベントの実施時やメールマガジンで寄付の呼びかけを行った。また企業向け WEB ページの改善を行い、問合せのあった企業には寄付に関するメニューを提案した。

4. データベースの構築・運用

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	本会事務所
担当者	樋口、宮本
報告	各データベースを統合するための表項目を整理し、フォーマット作成を進めた。会員、グリーンボランティア保険利用団体、関係者などのデータベース統合を新しいソフトウェアを利用して進めた。

5. インターンシップ制度の活用

実施期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
実施場所	本会事務所
担当者	宮本

報告	昨年度に引き続き SOMPO 環境財団による CSO ラーニング制度を活用し、インターン生 2 名に業務協力を依頼した。
----	--

6. 各種委員会への出席

- ・森林・山村多面的機能発揮対策企画委員会（書面決議、全 5 回）出席：宮本
- ・2024 年 7 月 23 日 文京区地球温暖化対策地域推進協議会 出席：鹿住常務理事
- ・2024 年 9 月 11 日 東京都緑の募金運営協議会 出席：鹿住常務理事
- ・2024 年 10 月 17 日 文京区地球温暖化対策地域推進協議会 出席：鹿住常務理事
- ・2024 年 11 月 1 日 文京区生物多様性地域戦略協議会 出席：鹿住常務理事
- ・2025 年 1 月 22 日 文京区地球温暖化対策地域推進協議会 出席：鹿住常務理事
- ・2025 年 2 月 5 日 東京都緑の募金運営協議会 出席：鹿住常務理事
- ・2025 年 2 月 18 日 セブン・イレブン記念財団助成審査会 出席：宮本

III. 事務局体制

常務理事・理事と事務局職員によって、月に 1 回程度事務局会議を行った。事務局の構成メンバーは以下のとおり。

＜常務理事＞	〔非常勤〕
鹿住 貴之	認定 NPO 法人 JUON（樹恩）NETWORK
＜理 事＞	〔非常勤〕
石山 恵子	遊学の道 Project
＜事務局長＞	
宮本 至	〔常 勤〕
＜事務局職員＞	
樋口 満里	〔常 勤〕
石井 春花	〔業務委託〕
中沢 和彦	〔業務委託〕

IV. 運営委員会体制

首都圏在住の理事を中心として構成し、原則 3 カ月に 1 回程度、各事業の進捗状況の確認および必要な事項を協議した。構成メンバーは、上記の常務理事・理事、事務局職員のほか以下のとおり。

＜副代表理事＞	
原田 敏之	愛知生態系ネットワーク協議会
＜理 事＞	
赤池 円	私の森.jp

<理 事>

久保田 繁男 西多摩自然フォーラム

<理 事>

水谷 伸吉 一般社団法人 more trees

<理 事>

松村 正治 NPO 法人よこはま里山研究所